



## 思想上より觀たる

## 道路改良問題

海軍中將 佐藤鐵太郎

東京市内の道路の不完全であるといふことに就いては、モウ既に普く世の中に知れわたつて居るところであつて、他の諸都市に比べて見ても、東京市内のやうな悪い道路といふものは殆ど他に類が無い位である。さうして自分等の最も憂慮する所は道路といふものと人の精神状態とは餘程關係の深いもので、道路の状態が悪くて通行しても何となく不愉快を感じつゝあるといふことが、延いて人の氣分をイラ／＼させるといふことになり、それがやがて人心の悪化をも誘導することになるのである。これは少し位の經濟上の利害問題とは比較すべくもない重大な問題であると考へる。

又道路の改良と同時に交通機關との關係も考へて見なければならぬ。如何に道路を良くしても交通機關が不完全であるといふと、これが爲に受くる所の物質的並に精神的の影響は尠なからぬものである。例へば荷馬車の如きものが餘りに多くの荷物を積んで歩いたり、或は又非常に重過ぎる貨物自動車などが無制限に疾驅するが如きことでは、只さへ悪くなる道路を倍々悪くするのみならず、人がちよつと道路を歩くにも安心して歩けないといふやうなことになる。随つてこの間にも思想上に悪影響を生ずるといふことは明かなことと思ふ。

### 三

今日市内の電車や乗合自動車に乘降する有様を見ると、まるで敵同志が一つの目的に向つて進むやうな狀況を常に見受けるのである。是はお互に同情心が無いといふ證據であつて、人心の悪化して居る一つの證左とも見ることが出来る。前年の大震災後には何處の電車を見ても整然として列をなして自分の順番を待つて乗降して、決して人を押し除けて乗るといふやうなことはなかつた。あの時はお互に同じ苦みを嘗めたのであるから、親子兄弟の間に存する道義心と同じやうな心持が自ら現はれた結果と思ふが、親子兄弟が車に乗る時には決してあのやうな醜態を演ずることはない。要するにお互に敵同志のやうな心持を以て争ふからあゝいふ事が出来るので、あの有様を一つ見ても、日本人が如何にお互の間に同情が無いかといふことを外國人などが見たならば感ずるであらうと思ふ。

これは勿論我が國民の教養の缺陷であるが、一面から言へば今日の交通機關の不完全——ひろく言

へば道路交通の不完全といふ事が亦與つてよほど大なるものではないかと思ふ。この點から考へると今日道路を改良して交通の整備をはかることは國民の思想問題の上に重大な關係を有して居ると言はなければならぬ。

併しそこには種々取締の規定も設けられてあり、或は又いろ／＼の設備をしなければならぬ必要もある、それには又財政上等からそれ／＼の困難な事情が出て來るのであるから、餘りに一時に過重な要求も出來ないかと思ふが、その局に當る人々は十分に是等の點に注意をして貰ひたいと思ふ。

#### 四

この頃東京市内の道路もだん／＼改良するといふ機運に向つて居るやうである、例へば木鋪道であるとか或はアスファルトであるとかいろ／＼な工事を試験的にやつて居られるやうであつて、何時かは立派な道路が現出する時機もあらうと思ふ。併しこれは素人の批評ではあるが、今のやうにチグハグにいろ／＼の場所にポツリ／＼と工事をされる如き事では、却つて新しく設けた所の道路から面白くない結果を生ずることがないとは限らぬと思ふ。殊に道路の修繕などに就いて吾々が痛切に感じて居ることは餘りに方々に手を擴げ過ぎるやうに考へられる。随つて一箇所を掘り返して置いて、長い間その儘に放置することもある、或は完成迄に長い時日を要することがあつて、不慮の怪我人などを生じたりするといふことも新聞紙上に現はれて居る。是等は餘りに各方面の要求に満遍なく應じようとする念のみ強くして、儼然たる一定の方針を以て一部分から片附けて行くといふ心持が足らぬか

ら、斯ういふ結果になるのではないかと思ふ。自分は別段道路工事には経験は無いのであるが、一箇所十日で出来る所を十箇所で一時に始めれば百日掛るといふやうなものである、その間にどれだけ多くの人が不便と迷惑を感じるか分らぬのであるから、片方は少々不便を感じてもそれは一時犠牲にして先づ一箇所から片づけて行くといふことが必要ではないか。

## 五

兎に角一箇所長い間交通遮断をして公衆に不便を感じしめるが如きことは、何としても良い施設とは考へられない。この頃はどうか知らぬが、少し以前に英吉利あたりでやつて居つた所の道路改良の方法を見ると、一部分から着々とやつて行くので、一箇所の道路工事に長く掛る爲に不便を來すやうなことは殆ど無かつたやうに考へて居る。

而も英吉利は到る處道路が良いのであるけれども、尙ほその上に夜になると撒水車、雑巾車、その後には新しい砂を撒く車といふ風にすつと順序を定めて一齊に掃除を實行するので、益々道路は良くなるといふ譯である。今日の東京市内の如きは例へば木鋪道といふものを一部分造つて見ても、あとの掃除をせずに長い間放置して置くものであるから、靴や下駄に依つて他の土砂がさかんに持ち込まれて居る、その土砂が長い間に踏み碎かれて非常に細かい塵埃となつて、少しでも風が吹けば兩側の人家に吹き込み、或は道路を歩行する人を苦しめるといふやうな状態は洵に何處の國に行つても見られない例である。一たび出来上つた道路の維持管理といふ點には十分注意をして貰ひたい。

六

荷馬車の如きも、この間或る人の話を聞くと、この上に更に大きな立派なものにする計畫ださうである。今迄は車輪の幅が三寸であつたものを五寸とし、積載量は三百貫を限度として居るものを五百貫とするといふことである。これでは車を造るのに非常な費用が掛るのみならず、第一それを挽く馬すらも今日本には居らぬ。今日本に居るのは輕挽馬であつて、重挽馬といふものは殆ど無い位である。一方には大きな計畫を立て、これに伴ふべき他の計畫は忘れて居るといふ譯でもなからうけれども、兎角さういふ風に一方にばかり趨つて、全體に亙つて完備して居らぬやうな趣きが我國に於ては總ての施設の上に於て見られるのであつて、是は獨り道路のみではないが、道路に就いてもさういふやうな感が非常に多いやうに思ふ。

七

この間も修繕中の工事の穴に人が墜ちて死んだといふ事で、警視廳ではこれから後さういふ事のないやうにせよといつて嚴重な警告を市當局に發した。それに對して市當局は決心のある返事をしたといふことが新聞に見えて居つたが、又この頃不完全な施設の爲に子供が穴に落ちたといふやうな事を聞くのはどういふものかと思ふ。これはつまり道路の改良工事の上に就いても責任觀念を以てやつて貰はなければ、唯だ申譯にやつて居るといふやうな有様では、いつになつても道路の完全は望んで

も得られないと思ふ。何に致せ何處を歩いてても東京市より悪い道路は、日本國中到る處に於いて見出すことが出来ぬといふやうなことは東京市民の恥であると共に、我が帝國の辱であると謂はなければならぬ。

## 八

それから又道路の修繕はされて居るやうだけれども又直きに壞れて行く、これなども道路の工事に關係して居る人達に責任觀念といふか、親切心といふかさういふものが少ないといふことを證據立てるものではないかと思ふ。鶴嘴を一つ打ち下すにもそこに大なる責任を感じて、自分が工事をした所は再び修繕をする必要がないやうに、或は通行人になるだけ迷惑を掛けないやうに、或はいろいろなものを汚さぬやうにといふ親切心を以て振り下す鶴嘴には、尊い道義心が籠つて居るのであつて、その結果は詰り丈夫で心持の良い道路となり、或は軌道となつて現はれて來るのである。之に反して唯その日暮しで、その時さへ間に合へば後はどうでも宜いといふやうな氣分でやつたならば、修繕はしてもそれが不完全である、随つて早く壞れる、又修繕をしなければならぬ。若し一日でも遅らしたならば取り返しの附かぬやうな大破損をも生じて、他の方面の緊急な工事を擱いてもその方の修繕に手を分けなければならぬといふやうな結果にもなる。であるから根本に於て工事に關係する人々が責任觀念を強くして、總ての事を考へ又實行するといふことであつたならば、サウ長い年月を経ないでも、又それ程の金を費さぬでも相當の所までは進むものではないかと思ふ。

## 九

又道路改良に伴うて行はなければならぬのは、通行人、電車、自動車及び荷車などに關する交通の取締——交通道德といふことに對して、餘程注意しなければなるまいと思ふ。電車の如きも今日はモウ極端まで利用されて居る。又自動車も次第にその數を増して居る譯であるが、これ等の交通機關と歩行者とかその他の車とが雜然と交通をするといふ爲に、どれ程全般の交通に妨げを生ずるか。それが爲に快速の車輛も速力を減じなければならぬ。隨つて不要な時間を多く費すといふやうな譯で、どれだけ損害を受けるか分らぬ。時間といふものは人間の一生の中で一番大切なもので、漫りに多くの時間を費すといふことは、道路の取締の上から見ても餘程注意しなければならぬことのやうに思はれる。前申すやうに我先にと争うて喧嘩腰で交通機關を利用し、或は道路を歩いて居るが如きことは時間を徒に浪費するのみならず、思想上にも非常に重大な關係を生ずるので、所謂「浮華放縱」とか「輕佻詭激」といふやうなことが、遺憾なく道路交通の上に現れて居る。

これは唯だ道路の幅員を擴げるとか、或は歩道と車道とを區別するとかいふ簡單な事だけでは決して好い結果を收めることは出来ないと思ふ。今日の道路交通上の混雜は獨り道路の不完全のみならず、道路を利用する人の心理状態が頽廢して居るといふ事に原因することも多いから、この點は兩者相俟つて十分の改良を圖らなければならぬと思ふのである。